

P24 (裏表紙)

P1 (表紙)



社会福祉法人
南山城学園

新卒採用の ご案内

minamiyamashiro gakuen
recruiting pamphlet



フタシをこえ
こえ
こえ

P2



P3



フクシをこえてけ

それぞれ違う一人ひとりが、地域でいっしょに、幸せに暮らしていく。そんな未来をつくるために、福祉の枠をこえていこう。単に支援をする・されるではなく、一人ひとりとまっすぐ向き合い、いっしょに生きていこうとすることそのものが、私たち南山城学園の仕事だから。一人ひとりと向き合うために、福祉の壁をぶち壊そう。「福祉」と聞いてイメージするフィルターを取っ払う。カラを破り、異なる分野や職種と化学反応をおこすことで、誰もが自分らしく暮らせる地域づくりの可能性は、何倍も大きくなるから。福祉に、こうあらねばならない、はない。福祉は、私たち一人ひとりのなかにある。だからこそ、あなたのこれまでの経験とこれからの視点を、南山城学園にぶつけてほしい。その先にこそ、目指すべき新しい景色がひろがっていると、信じているから。



目次

P4	私たちが目指すこと
P5	地域とのつながり・支援の取り組み方
P6-7	データでみる南山城学園・職員の日
P8-11	南山城学園職員インタビュー
P12-13	座談会
P14-15	キャリアアップについて 給与待遇について・職場づくりについて
P16-17	事業領域・職種紹介
P18	基本理念・7つの誓い・理事長挨拶
P19	事業所案内
P20	法人概要





私たちが目指すこと

社会福祉法人として、今あるべき福祉のカたちを、どこまでも追求し続けます

目の前にいる一人ひとりといっしょに生きていくために、どんな地域を目指せばいいのか。どんな支援に取り組めばいいのか。一つひとつの、よりよい福祉のありようを、どこまでも追求できる。そうすることで専門的なスキルや知識が身につく、福祉業界で働く人として、どんどん成長していける。それが社会福祉法人で、そして南山城学園で働く大きな魅力です。これからますます、地域の未来が、福祉を起点につくられていきます。南山城学園が目指す、地域づくりと支援への取り組みをご紹介します。



地域とのつながり

利用者さま、地域のみなさまも含め、すべての人々がともに生き、支えあい、助けあえる地域づくりに取り組んでいます。

地域交流 地域にひらき、つながる活動を通じて、さまざまな課題をこえていきます

地域のみなさんとの交流の場として、毎年夏と秋に「和光祭」「彩雲祭」を開催。毎年多くの方々にお越しいただいています。また、障害や介護への理解を深めるための、小・中学校や大学での出前講座や、地域の子どもたちと宿題や食事をし、孤食などの問題に取り組む「ダイニングあんさんぶる」など、支えあい、助けあえる地域づくりのための活動を積極的に行っています。



カフェ運営 3店舗のカフェを、利用者さまといっしょに運営しています

「ぶらんたん」「ぶちぼんとkitchen+farm」「さびゅいえ」というカフェを、利用者さまと運営しています。カフェには自家農園があり、障害のある方や社会的自立をめざす方の支援の場としても使われています。農園でつくられた野菜は、カフェのランチや地域のレストランへ。ランチタイムは、連日たくさんのお客さまでにぎわっています。



支援の取り組み方

その人らしく生活し、できることが増えていくために。現場での経験・ノウハウ・科学的根拠から支援の質の向上に取り組んでいます。

研究 科学的根拠にもとづいた支援を行います

支援の質を高めるために、検査データにもとづく評価・分析を重視しています。科学的根拠をもち、さまざまな専門機関と連携することで、よりよい支援を追求しています。



協働 他法人と連携・協働し、ともに高め合います

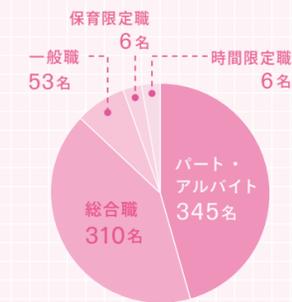
京都府の障害福祉に従事する職員対象の、「強度行動障害支援者養成研修」を実施。そのほか、「介護職員 初任者研修・実務者研修」や「ガイドヘルパー養成講座」などを開催し、支援に関する研究と実践ノウハウを積み重ねています。



データでみる南山城学園

南山城学園って、どんな法人？ 職員たちはどんなふうにいるの？
気になる南山城学園のさまざまな一面を、数字でわかりやすく紹介します。

職員数と職員の構成



平均年齢

正職員のみ

35.2 歳

(2020年度実績)

男女比

正職員のみ

男 女
4.7 : 5.3

(2021年度12月平均)

勤務年数

正職員のみ

8 年

(2020年度平均)

残業時間

正職員のみ

5.1 時間 / 月

(2020年度平均)

産休・育休

産休・育休取得者数

22 人 (2020年度)

復帰率

100% (2020年度)

有給休暇取得日数

正職員のみ

76.6%

(2020年度平均)

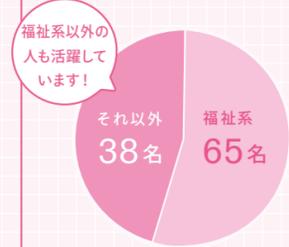
初任給

大卒	205,900円～
専門4年卒	199,700円～
専門3年卒	192,900円～
専門2年卒・短大卒	186,600円～

(2021年度実績)

※上記の金額には賞与・通勤手当・夜勤手当など諸手当は含まれていません。上記金額に、賞与と諸手当がプラスされます。

出身学科の構成



過去5年間の新卒者 (計103名)

先輩たちの85%が 仕事にやりがいを感じている。

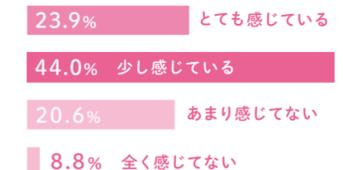
「利用者さまが元気にしているとき」「利用者さまの成長が見られたとき」「利用者さまの笑顔が見られたとき」「利用者さまやご家族に感謝されたとき」など。利用者さまとの関わりのなかで、多くの先輩たちが仕事にやりがいを感じていることが、南山城学園の職員(パート・アルバイトを含む)を対象にしたアンケートでわかりました。また、「社会的意義の大きい仕事」「障害者施設として優れている」「外部の方から高く評価された」など、南山城学園で働くことに誇りを感じている職員は68%にのびりました。

Q1. ふだんの仕事にどれくらい「やりがい」を感じているか



未回答 1.2%

Q2. 南山城学園の職員であることに、どれくらい「誇り」を感じているか



未回答 2.7%

職員の日

勤務形態は職種によって異なりますが、基本的には早出・日勤・遅出・夜勤の4パターンのシフト制で1ヶ月ごとの勤務を組んでいます。

生活支援員のある日の日勤

8:50

出勤・始業(朝礼)

すべての施設に職員専用の駐車場を完備しているため、車でも通勤OK。朝礼では夜勤の職員より、注意点や問題点の引き継ぎ。



9:15

日中活動支援

一人ひとりの特性や能力に合わせて、各作業場での作業支援や昼食介助を行います。



12:30

休憩・食事

ランチタイム。お弁当の日もあれば、利用者さまと同じ食事メニューをとる日もあります。



13:30

カフェスタッフ

南山城学園が経営しているカフェで、勤務されている障害のある方の仕事をフォロー。



16:45

1日の記録

その日の利用者さまのようすや気がついた点などを詳しく記入。



17:00

退勤

仕事終わりは趣味や食事にかけたりと、プライベートもしっかり充実。



南山城学園職員インタビュー

その他インタビューはホームページにて掲載しています
 南山城学園職員インタビューサイト
r-minamiyamashiro.com/interview/



1

うらの はな
浦野 羽菜さん
 総合職 / 生活支援員
 2021年入職
 障害者支援施設 魁

あれが福祉だったんだ

大学時代に、自分の体をつかって誰かのために何かしたいと思い、フィリピンの住宅建築のボランティアに参加しました。この活動は、現地住民の家づくりを手伝うというもの。そこで見た光景が、今思えば自分にとっての福祉の原体験でした。ご近所の人々が集まり家づくりを手伝い、大人も子供も一緒になって、日本から来た私達のことにも温かく受け入れてくれる。こんな世界で私は生きていたいと思ったし、こんな地域を日本でもつくりたいと考えるようになりました。福祉学の知識はなかったけれど、思い切って南山城学園に飛び込んだのは、ここなら自分の可能性を試せる環境があると感じたから。今は「魁」の生活支援員として、現場現場の毎日です。1日の終わりに「お疲れさま、気をつけて帰りや」と声をかけてくださる利用者さまたちから、いつも元気と勇気をいただいています。

当たり前という奇跡

具体的な業務内容は、入所されている利用者さまの生活支援と就業支援をすること。生活支援では、食事・服薬・入浴・排せつの介助といった、生活に関わる行動に対して必要な支援を行っています。できることは利用者さまご自身でしていただき、個人個人に合わせた最低限の支援を

心がけています。また、就業支援では、職場での利用者さまのフォロー、仕事量の調整、集中しやすい環境の整備などを行っています。いずれにしても、仕事のやりがいは、利用者さまの笑顔です。私がしたことでも笑顔になってもらえると本当に嬉しいんです。「おいしいよ」「ありがとう」そんな当たり前のようにでいて奇跡のようなやりとりに、涙が出るほど感動することも。さらにいい支援をめざして努力し、もっとたくさんの方の笑顔をつくりたいです。

いろんな壁をなくしたい

もともと福祉の現場には、閉鎖的なイメージを持っていました。福祉系の大学に行っていないと、資格を持っていないと就職できなさそう…という先入観も。ですが、南山城学園は違いました。私以外にも、文系理系問わず、さまざまな学部出身の方がここにはいます。その多様性は法人の魅力だと思いますし、学んできたものが違うからこそ、新しい支援を生み出せる可能性も大きいはず。これからもっと福祉に関する知識と技術を身につけ、障害者と健常者、福祉と地域、家族と施設など、いろんなもの間にある壁を低くしていきたい。そして、多くの方が頼れる居場所をつくり続ける。そんなソーシャルワーカーをめざしています。

壁をなくして、
 笑顔をつくる

働く理由は、一緒にいたい人がいるから

「なんで僕らは働くんだろう？」

入職が決まった5年前。内定者研修で講師に問われたのが、この言葉でした。新入職員の僕らは「生活のため」や「お金を稼ぐため」と答えたものの、「お金以外の理由も考えましょう」とのこと。最近ふとその時のことを思い出し、今では考え方が変わっていることに気づきました。業務にも慣れ、仕事にはやりがいも。落ち込んだときには、一緒に悩んでくれる同僚がいる。休みの日にはキャンプに行くなど、気兼ねなく遊べる同期もいる。そうか、僕の財産はお金ではなく、人だったんだなあと。思い起こせば、大学時代にアルバイトで出会った福祉の仕事。将来の仕事にしようと思ったのも、利用者さまと一日一日を楽しく過ごしたいと思ったから。一緒にいたい人がいる。だから僕は働き続けられる。つくづくそう感じている、今日この頃です。

変化を受けとるアンテナになる

僕は今、入所施設の「円」で24時間の交代勤務をしています。利用者さまの生活全般のサポートをはじめ、堆肥をつくる作業のサポートや、よりよいサービスを考えるサービス向上委員会の議長も担当。僕らソーシャルワーカーの役割は、どんなに小さな変化もキャッチできる「ア

ンテナ」になることだと思うんです。現在支援している利用者さまの多くは発語がなく、表情やジェスチャーで訴えてこられるため、些細なことでも見落とさないことがとても大事。利用者さまが何を思っているか常に考え、もっと笑顔になれることや、新たな可能性を発見していく。そのためにもこれからは、福祉のイメージをもっと多様に広げ、地域とつながっていく活動もしたい。まさに、フクシをこえていきたいですね。

失敗は、可能性の塊です

最後に自慢させてください。南山城学園には、「福祉のプロフェッショナル」が育つ土壌が揃っています。僕は入職後、法人主催の実務者研修を受講し、介護福祉士の資格を取得しました。また、3年目までデイサービスセンターに勤め、4年目に異動で「円」へ。このように、さまざまな施設や職種を経験することで、仕事の幅も広がっていきます。そしてなにより、支えてくれる仲間がいます。「自分の身になる失敗は、たくさんすればいい」。僕は上司からこの言葉をかけていただき、今は僕が先輩に伝えています。失敗からきちんと学ぶことで、より大きな成長へ。その失敗を見守り、フォローしあえる基盤がここにはあります。そんな南山城学園で、あなたと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

むらかみ ゆうや
村上 邑弥さん
 総合職 / 生活支援員
 2017年入職
 障害者支援施設 円



2

南山城学園職員インタビュー

3

かつもと まゆ
勝本 真由さん
 総合職 / 事務職員
 2017年入職
 法人本部 事務局
 企画広報課

相談支援員に憧れて

小学校の先生になりたいと、大学の第一志望は教育学部でした。結果は、残念ながら併願していた社会福祉学部へ。いやいや、ここであきらめてなるものか！と、通学しながら通信教育で小学校の教員免許をとろうと作戦変更。けれど、大学で幅広く福祉を学んでいくうちに、クラスで居づらさを感じていたり、勉強についていくのが難しかったり、さまざまな生きづらさを抱える子どもたちがいることを知りました。そんな子たちの気持ちに寄り添える人になりたい。そう思うようになり、福祉一本で学んでいくことを決めました。在学中の実習を通じて、その人の人生をよりよいほうへ方向づけていく「相談支援員」になりたい。そのためには、直接利用者さまと関わる現場を知っていなければ。そんな思いで、生活支援も相談支援の事業所もある、南山城学園への就職を選択しました。

あれもこれも、福祉でできる

南山城学園には福祉学部出身でない職員も多くいますが、福祉を学んできた私にとっても、福祉のイメージがいい意味で変わりました。まず、「福祉」と聞くと「介護や生活の手助けをすること」と、考える人は多いと思います。けれど、南山城学園の実践はそれだけではありません。私自身、

現場で働きながらさまざまな地域の取り組みに携わりました。「子ども食堂」「学習支援」「小学校への福祉の出前授業」といった地域活動をはじめ、福祉と農業を掛け合わせた「農福連携」も。最近では、ロボットを就労支援の現場に導入する「KOUFUKU 連携」という工業系企業とのプロジェクトもスタート。常に福祉を問い続け、学び続ける職員が多いことも魅力。自分も何かしたい！と、いつも刺激をもらえる環境ですね。

長い目で、キャリアプランを

4年間の現場勤務を経て異動があり、今私は法人本部事務局で働いています。新卒採用活動、インターンシップの受け入れ、法人内外部の研修運営が主な担当です。学生のみなさんに法人のことを伝えるためには、私自身が南山城学園のことを知らないといけません。そのおかげで、以前勤務していた施設以外の取り組みや魅力を知ることができ、あらためて「南山城学園、いいやん！」と思いました(笑)現場を学生さんに伝えるという点では、4年間の生活支援員の経験が、活かされないはずがありませんよね。どんなポジションになっても変わらないことは、人の人生に寄り添う仕事をしているということ。その中で、相談支援員になりたい思いもあるので、長い目でキャリアプランを組み立てていきたいと考えています。

人生に寄り添うを、
 全力で楽しむ

平和な毎日が続けるために、
 人にやさしい人でありたい

ポイントは、産休までの働きやすさ

これまで2回の産休・育休・復職を経験。産休や育休はどの職場でもとれるとは思いますが、問題は妊娠してから産休に入るまでの勤務、ではないでしょうか？だから私は、この期間がとても働きやすかった南山城学園を選んで、本当によかったと思っています。失便時の対応や入浴など、しゃがまないといけない場面は代わってくれたり、なるべく規則的な勤務で出勤させてもらえたり、たくさん助けてもらいました。復職後は、子どもが熱を出すたびに、どうしても迷惑をかけてしまうことが増えますが、パートさんや子育て経験のある先輩たち含め、みなさん理解がある方ばかりなので、安心して職場復帰できる環境です。また、子どもが小さいうちは変則勤務もとりにくいですが、そのあたりも相談しながら、可能な範囲で働けるよう調整してもらっています。

目標は持たず、一日を丁寧に

現在は、障害者支援施設「輝」で医務とSS(ショートステイ)を担当しています。医務では、全員分の薬セットと内科や精神科、歯科などの受診の調整をしています。SSでは、利用日の調整をはじめ利用者さま個別の情報管理、他事業所との連携など、現場を円滑に動かすための全体フォローにまわっています。いわば、利用

者さまとスタッフ双方の、環境整備係ですね。スタッフの働きやすさは、利用者さまの暮らしやすさにつながるの、責任もやりがいも感じられます。あまり大きな目標は持たず、目の前にあることを見て、一日一日を丁寧に。そんなことを大切にしながら働いています。勤務終了後は、子どもの保育園のお迎えがあるので、17時に定時退社。あわただしい毎日ですが、バランスよく仕事と子育てを両立できていることに感謝しています。

小さくて大きな挑戦

親や周りの人たちの仕事の関係で、子どもの頃から障害のある人と関わることもあり、「福祉」というものがずっと身近にあったように思います。大学では福祉学部に進み、福祉事業所で介護のアルバイトをはじめたのも、特に何を考えたわけでもない自然な流れでした(笑)就職する際も、人のためになる仕事ができれば、福祉でもそれ以外でもなんでもよかったんです。もちろん南山城学園を選んで正解だったと思っていますが、特定の職種に固執することはありませんでした。今でも、自分がどうなりたい！という野望はありません。でもそれはネガティブな意味ではなく、何事もなく平和な毎日が続けば、こんなに嬉しいことはないと思っています。そのために、どれだけ人にやさしくなれるか。それが私の、小さくて大きな挑戦なのかもしれませんね。

その他インタビューはホームページにて掲載しています
 南山城学園職員インタビューサイト
r-minamiyamashiro.com/interview/



なかごし ゆい
中越 祐衣さん
 総合職 / 生活支援員
 2014年入職
 障害者支援施設 輝

4



フクシをこえてけ座談会

遠慮なし。タテマなし。結論なし。
3人の若手職員が語る、
フクシをこえてくホンネトーク。

福祉について本気で語りあいました

メンバープロフィール



勝本 真由さん

事務職員 / 2017年入職 / 法人本部 事務局 企画広報課

小学校教諭をめざしていた在学中、クラスで居づらさを感じている子どもたちに寄り添いたい福祉分野へ。南山城学園に入職後、4年間の現場経験を経て、法人本部の企画広報課へ異動。現在は、福祉業界で働きたい学生に寄り添いながら、自身の夢である相談支援員をめざしている。



浦野 羽菜さん

生活支援員 / 2021年入職 障害者支援施設 魁

大学時代、ボランティアで訪れたフィリピンの孤児院で出会った子どもたちとの交流をきっかけに、福祉の道へ歩み出す。入職後は障害者支援施設「魁」に勤務。障害のある人の可能性を広げ、誰もが生きやすい地域をつくらせたい。その想いを胸に、現在、社会福祉士の資格取得をめざして勉強中。



村上 邑弥さん

生活支援員 / 2017年入職 障害者支援施設 円

臨床心理士を志して京都の大学へ。その間、アルバイトで経験した障害者福祉の仕事のきっかけに南山城学園へ。利用者さまとの関わりやふれあい、楽しいことのお手伝いが自分自身の楽しみにもなった。「福祉職はよろずや」をモットーに、枠にとらわれないスタンスで現場に臨んでいる。



そもそもフクシってナニ？

「福祉」はあとからついてくる。

村上

入職してから5年が経ちますが、どんどん「福祉の仕事をしている」感覚がなくなっているように感じます。

勝本

私たちが現場でやっていることは、人と人が関わるうえで「あたりまえの連続」ですからね。困っている人がいたら手を差し伸べる。助け合いながら生きていくという、ごくごく自然な営みがベースにある。だから、「福祉を学んだ人が福祉をする」というイメージがまだまだあるようですが、これは本来の福祉とは相当かけ離れた誤解なんですよ。

浦野

私は福祉学部出身ではないのですが、大学生の頃から「誰かのために何かをしたい」という想いがずっとありました。その想いをきっかけに、フィリピンの住宅建築のボランティアに参加したんです。大人も子どもも、貧しい人もそうでない人も、さまざまな背景をもちながら、一緒になって家づくりを手伝う姿に心を奪われました。当時の私は「福祉」という言葉を意識していませんでしたが、今思えば、あの光景が自分にとっての「福祉そのもの」だったんだなと思っています。

村上

わかります。どんな人も楽しく生活できる社会になってほしい。そんな想いからはじまり、想いを実現するために動いていたら、気がつけば「福祉」という分野にたどり着いていた。そこが、3人も共通していますね。

浦野

そうですね。福祉というのは、「心」なんだと思います。利益ではなく、人の幸せを一番に考えること。その気持ちのすべてを、福祉と呼ぶことができるのではないのでしょうか。

勝本

そうですね。当然といえば当然なんですけど、日頃働いていても「今、福祉やってるな〜！」と思うことなんてほとんどないですもんね（笑）

村上

むしろ「あ、そういえば福祉の仕事をしてるんだっ」と思い出すくらい（笑）それほどカタチのないものでもあるし、逆に言えば、ものすごく多様なカタチをしているものでもあると思います。

「人と関わるのが好き」の本当の意味

勝本

障害者支援施設で働きはじめた頃は、利用者さまに「何かしてあげない」という想いが強くて、「できないことを助ける仕事」と無意識的に捉えて行動していたように思います。でも、私自身も利用者さまに助けられることが多く、助ける・助けられるという図式では測れない仕事だということに気づきました。それよりも、もっと簡単なこと。おいしい、嬉しい、楽しい、心地いいなど、そういう気持ちになってもらうには、どうすればいいかを考える仕事なんだって。

村上

そういった利用者さまにとってのより豊かな生活のためなら、どんなことを仕事にしてもいいんですね。だから僕は、福祉の仕事は「よろずや」だと考えているんです。生活のお手伝いはもちろんですが、農福連携なら農家として、カフェの運営ならウェイトレスとして、祭りを企画する際はイベントターとして、いろんな姿で利用者さまのプラスになることをしていく。それが、福祉の仕事でお金をもらっている理由なんじゃないかな。

浦野

仕事として福祉をしていると、人生に休憩や休日がないことを実感します。つまり、「福祉を仕事にする」とことは、人の人生に寄り添う責任が持てるかどうか、だと思うんですね。福祉の求人によく見かける「人と関わるのが好きな人、大歓迎！」といった言葉の本当の意味は、ここにあるような気がします。本気で人が好きかどうかということに。

勝本

確かにそうかもしれませんね。私たちは、人に寄り添うプロフェッショナル。本気で利用者さまの人生に関わっているからこそ、利用者さまやご家族から「あなたと出会えてよかった」と言ってもらえたときの気持ちは、言葉で言い表せない感動があります。



南山城学園のフクシとは？

職員の多様性が、福祉に化学反応を起こす

浦野

私は、福祉系の大学出身でないこともあり、福祉の現場に対して閉鎖的なイメージを持っていました。資格がないと就職できないんじゃないかとか。ですが、南山城学園は違いました。

村上

そうですね。南山城学園には、福祉以外を学んできた人も多いですよ。いろんな畑からやってきた人がいるからこそ、「よろずや」は成り立っているのかなと思います。

浦野

その多様性が、南山城学園の魅力ですね。お互いに学んできたことが違うからこそ、教え合い、新しい学びとなり、それぞれの強みがあるから助け合える。どんな人でも福祉に関わることができるし、私も南山城学園を知り、福祉に関わりたいと思うようになりました。

勝本

利用者さまの幸せを追求していくと、どうしても福祉施設の内だけでは限界が生じてきます。そのときに、いろんな分野から職員が集まっていることは、法人としての大きな強みでもありますよね。

村上

もっと地域へひらいていながら、「えっ、福祉の仕事ってそんなこともしてんの!？」ということも、どんどん仕掛けていきたいですね。

福祉の心を広げる仕掛け人へ

これからフクシをどうしたい？

勝本

私たちは、利用者さまや地域のお困りごとに対して、真っ先に手を差し伸べられる環境にいます。コロナ禍で休校になり、昼食の準備に困るご家庭に、いち早く「100円弁当」を販売できたことは、南山城学園の良さが発揮された活動でもありました。

村上

僕が所属する「円」では今年度、利用者さまと日々作業している堆肥づくりの体験会を、地域の小学生を対象に実施しました。作物を元気に育てるための堆肥から、小学生たちのさまざまな学びにつながれば嬉しいです。

勝本

堆肥づくりをはじめとする農業との連携に加えて、工業との連携もスタートしました。「KOUFUKU連携プロジェクト」として、ロボットを利用者さまの作業現場に導入し、作業のしやすさも報酬も満たされることをめざす取り組みです。従来の福祉の分野だけにとどまらず、さまざまな業種・業界と連携していくことで、福祉が特別でないものとして人とつながっていく。その仕掛け人として、私たちにできることはまだまだあると思っています。

浦野

私もその一員になれるよう、これからもっと自由に福祉の考え方を広げていきたいです。そして、業界や大学にかかわらず、さまざまな年代や背景を持っている人たちにも、どんどん発信していきたいですね。誰かのために何かしたい、社会をよくしたいと思っている人は、近年増えてきているように感じます。そんな人たちが関わりたくるような活動を発信していくことで、誰もが暮らしやすい社会をつくっていくこと。その実現に向かう私たち一人ひとりの一歩が、「フクシをこえてけ」という気持ちなんだと実感しています。

その他の職員インタビューや南山城学園についての詳しい内容は [新卒採用サイト](#)へ ▶▶▶



キャリアアップについて

さあ、自分をこえてく働き方へ

南山城学園では、職員一人ひとりが
仕事と生活を両立しながら、
着実に成長できる
職場環境を整えています。



総合職 基礎研修

入社から5年にわたり行う人材育成を、総合職の基礎研修としています。
福祉の現場に必要な知識と技術を、個人のステージに合わせて身につけていきます。

1年目〈採用時10日、フォローアップ年12回〉

福祉職員としての基礎知識を学ぶ

マナー、権利擁護、社会資源の活用、
救急救命、法律、防災、個別支援計画
など

2年目〈年6回〉

利用者様の対応について

個別支援計画の内容を掘り下げていく。
利用者様だけを見るのではなく、利用
者様を取り巻く環境も見ていくことなど

3年目〈年4回〉

チームワーク

中堅職員として新人教育等も必要になっ
てくる。仲の良い集団としてのチームでは
なく、組織としてのチーム。職員研修の
中で自らの役割は何かなどを認識する。

4年目〈年4回〉

リスクマネジメント

事故を未然に防ぐために、日頃の気づき
を活かす方法論を学び、自らの職場
にて実践する。

5年目〈年4回〉

問題解決とセルフイメージ

組織の中で課題となる問題をどのよう
に解決するのか考える。問題や課題の
原因・その周りの環境も含め、多面的
に考える力を養う。

6年目以降

テーマ別研修、各施設独自の 研修など多数実施

人材育成、事例検討、ホスピタリティ、
権利擁護、虐待防止 など

6年目以降も キャリアアップを応援!

マネジメント

施設長・副施設長・主任など

エキスパート

高い専門性をもって後輩の指導にあたるアドバイザー役

※6年目以降は、より専門的な研修として「エキスパート研修」などを定期的で開催します。

スーパーローテーション制度

スーパーローテーション制度の導入により、配属の仕方が2パターンになりました。
スーパーローテーション制度とは、1年ごとに他部門(施設)へ異動する制度のこと。
4年間を原則にさまざまな現場を経験することで、早期成長をはかります。
対象となる職員は、総合職のなかから採用選考の状況・
資格取得状況・本人の希望を勘案したうえで南山城学園が指名します。
そのほかの職員は、標準ローテーション勤務になります。



資格取得支援と研修講座

法人内で、社会福祉士、ガイドヘルパーなどの資格取得に必要な研修講座を開催しています。

ローテーションの対比表

	スーパーローテーション	標準ローテーション
対象者	総合職の中から新規採用時に指名する	総合職スーパーローテーション以外の職員全員
異動周期	採用から4年間1年ごとに異動する	原則として、同一部門2年以上
配属先	障害・高齢の入所施設	全部門が対象
5年目以降	全部門ありうるが、相談部門へ配属される可能性が比較的高い	全部門の可能性がある

給与・待遇について

毎日と、将来に、安心できる給与と待遇

キャリアやライフステージにふさわしい給与と、
産休・育休の取得後には、安心して職場復帰できるようサポートします。
また、心身ともにリフレッシュすることがサービスの質の向上にも
つながるため、春、夏、冬にまとまった休暇を設けています。



給料について(新卒総合職の場合)

基本給	大卒	205,900円～
	専門4年卒	199,700円～
	専門3年卒	192,900円～
	専門2年卒・短大卒	186,600円～ (2021年度実績)
※上記基本給の金額には賞与・通勤手当・夜勤手当など諸手当は含まれていません。		
賞与	年2回 計4.3ヶ月分(2021年度実績)	
昇給	年1回 5,000円～6,800円	
諸手当	通勤手当(上限45,000円/月) / 夜勤手当(6,000円/回) 住居手当(上限10,000円/月) / 扶養手当	
福利厚生	健康保険、厚生年金保険、雇用保険 労災保険、退職金制度	

勤務時間について

1か月単位の变形労働時間制 (1日の実労働時間7時間10分、週平均実労働39時間25分)	
早出 6:45～14:55	内1時間休憩
日勤 8:50～17:00	内1時間休憩
遅出 13:05～21:00	内45分休憩
夜勤 16:40～翌9:00	内2時間休憩

昇給について(新卒総合職の場合)

モデル年収	27歳(入職5年目/独身) 基本給224,700円/年収420万円 (賞与、夜勤・住居手当含む)
32歳(入職10年目/既婚、子ども2人)	基本給237,300円/年収490万円 (賞与、夜勤・住居・扶養手当含む)
47歳(入職25年目/管理職)	基本給285,100円/年収610万円 (賞与、夜勤・住居・扶養手当含む)
※モデル年収は、あくまで一例です。 経験年数やスキルなどにより金額は異なります。	

休日・休暇

- 年間108日、ローテーション勤務
- 年次有給休暇(初年度28日※春休3日、夏休6日、冬休5日含む)
- 特別有給休暇(慶弔休暇・結婚休暇・配偶者の出産休暇など)
- 産休・育休制度あり(育休後、短時間勤務可)

職場づくりについて

きょうと福祉人材育成認証制度 「上位認証」を取得

人材育成や働きやすい
職場づくりへの取り組みが、
京都府より高く評価されています。
2017年には、厳しい基準を
クリアした福祉事業所のみが
認定される「上位認証」を
取得しました。



人材育成が
高く評価
されています

産休・育休・時短勤務が取得しやすい雰囲気と、 職員同士の理解が、法人全体に行き届いています

だから、産休・育休を経て、
その後の復職率はほぼ100パーセント。
復職後も夜勤はありますが、
時短勤務制度の活用を法人全体で
推奨しています。仕事と子育ての両立を、
あたりまえのこととして
実現できる環境です。



子育ての
相談がしやすい
環境です

事業領域

南山城学園は、障害のある方や高齢の方に施設へ入所いただくことで生活全般を支援する「居住支援」、デイサービスや通所リハビリテーションなどを利用いただく「通所支援」、また在宅でさまざまな相談に対応する「相談支援」、さらに保育事業を通じての「子育て支援」など、多岐にわたる事業を展開しています。

● 居住支援事業 自分らしく幸せに暮らせるよう、生活全般をサポート



南山城学園の居住施設には、主に知的障害のある方が利用される障害者支援施設やグループホーム、介護保険適用の高齢者の方が利用される介護老人保健施設があります。利用者様一人ひとりに寄り添い、食事・入浴・排泄から仕事・余暇まで、生活全般にわたりサポートします。

障害者支援施設 円(まどか)
障害者支援施設 紡(つむぎ)
障害者支援施設 和(なごみ)
障害者支援施設 魁(さきかけ)
障害者支援施設 翼(つばさ)
障害者支援施設 凜(りん)
障害者支援施設 光(ひかり)
障害者支援施設 輝(かがやき)
知的障害者グループホーム(城陽エリア・宇治小倉)
介護老人保健施設 煌(きらめき)
ショートステイ ふらっぶ

● 相談支援事業 住み慣れた地域での暮らしを続けられるよう相談によりサポート



電話や訪問などにより、障害のある方や高齢の方、またご家族の方からのあらゆる相談に応じています。住み慣れた地域で、安心して、自分らしい豊かな生活を続けられるよう、関係機関と連携を図り、利用者様をさまざまな角度からサポートします。

山城北園域障害者総合相談支援センター ういる
障害児(者) 地域療育支援センター ういる
障害者生活支援センター はーもにい
障害者就業・生活支援センター はびねず
障害児(者) 相談支援センター リーふ
障害者支援センター じゃすと
居宅介護支援事業所 すまいる
京都府地域生活定着支援センター ふいっと
若年者等就労支援拠点 サザン京都
障害児(者) 相談支援センター ういっしゅ

● 通所支援事業 多様なニーズを受けとめ、充実した日中活動の場を提供



「たのしく活動的に過ごしたい」「生産活動で収入を得たい」「心身の機能維持に努めたい」など、地域で暮らす障害のある方や高齢の方の多様なニーズ、一人ひとりの思いや希望に沿った日中活動の場を提供。地域社会の一員としてご自身の存在意義を実感でき、充実した日々を送れるようお手伝いします。

知的障害者デイサービスセンター あっぶ
身体障害者デイサービスセンター すいんぐ
就労移行支援事業所 さびゆいえ
障害者デイサービスセンター わこう
児童日中一時支援事業所 ちえりー
高齢者デイサービスセンター すまいる
通所リハビリテーション 煌(きらめき)
認定生活困窮者就労訓練事業所
デイセンター ふらっぶ

● 子育て支援事業 子どもたちの主体性を育む保育園



創立50周年を機に、保育事業をスタートさせました。「あのねが聞ける保育」「いつも笑顔でいる保育」「遊びを成長に繋げる保育」「パパ・ママと見守る保育」という4つの方針のもと、子どもたちの自主性を尊び、主体性を育てていきます。

もりの詩保育園
かぜの詩保育園
そらの詩保育園
るりの詩保育園
すずの詩保育園(企業主導型)
認定こども園 ゆいの詩

● 医療・健康管理 医療と福祉の連携により、安心・安全をサポート

南山城学園には、民間社会福祉法人としては数少ない独自の医療機関があります。城陽と醍醐に診療所(内科・障害者歯科 他)2ヶ所を開設し、施設利用者様の健康管理のほか、地域医療にも貢献。医療と福祉の連携により、安心して安全な生活をサポートしています。

職種紹介

生活支援員・介護職員



利用者さま一人ひとりの生活全般をサポート

食事、入浴、排泄ケア・外出つきそい・健康管理・財産管理にいたるまで、仕事の領域は幅広く多岐にわたります。利用者さま一人ひとりの個別支援計画を作成し、日中活動やイベントの立案・実施のほか、ご家族や関係機関との連絡・調整なども行います。

▼こんな方におすすめ

- ・障害のある方、高齢の方の人生に寄り添いたい
- ・就労支援、自閉症支援、認知症支援などそれぞれの特性に応じた介護技術や支援方法を学び、生かしたい

相談員



さまざまな提案を行い、問題や困難にいっしょに向き合う

利用者さまとご家族が抱える問題の解決に向けて、いっしょに取り組みます。ケアプラン・サービス利用計画の作成、各種関係機関との連絡調整、手続き代行などを通じて、利用者さまと地域社会をつなぐ役割を担います。

▼こんな方におすすめ

- ・専門的な知識や相談援助の技術を生かしたい
- ・障害のある方、高齢の方などさまざまな方と関わりたい

保育教諭



一人ひとりの歩幅にあわせた成長を大切に

保育園または小規模保育園で、0歳児～5歳児までの乳幼児の子育て支援を行います。子どもたちの気づきや発見、今日できるようになった一つひとつの成長を大切にしています。また、保護者の方の悩みや不安に寄り添うことも大切な役割です。

▼こんな方におすすめ

- ・子どもとじっくり向き合いたい
- ・異年齢の縦割り保育でそれぞれの子どもの成長を支えたい
- ・専門的な知識や技術を生かしたい

医療等専門職



利用者さまの体調の変化にきめ細やかなケアを

医師、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、言語聴覚士、柔道整復師など。専門職同士の連携を大切にし、利用者さまの気持ちに寄り添うケアを行います。一人ひとりの目標達成に向けた取り組みから生活全般まで、幅広くサポートします。

▼こんな方におすすめ

- ・専門的な知識や技術を生かしたい
- ・専門分野に限らず幅広く働きたい

基本理念

- 1 **利用者様の尊厳を守り、幸福を追求する。**
私たちは利用者様の人としての尊厳を重んじ、一人ひとりのかけがえのない人生に寄り添い、ともに幸福を追求します。
- 2 **地域のニーズにパイオニア精神で取り組み、「共生・共助」の地域づくりに貢献する。**
私たちは、社会福祉法人として培ってきた専門性やノウハウを最大限に活かし、地域社会における福祉ニーズに率先して取り組み、課題解決に努めます。また、すべての方が住み慣れた地域で互いに寄り添いながら暮らせる福祉社会の実現に貢献します。
- 3 **いつでも誰もが安心して利用できる福祉サービスを創造する。**
一人ひとりの特性に応じた適切なサービスを提供するため、さまざまな事業を展開し、安心して利用できる新たな福祉サービスを創造します。

7つの誓い

- 南山城学園職員が目指すべき行動基準です
- 1 **質の向上に向けた意欲と実践**
私は、利用者様の幸福のため、利用者ニーズに即応して、結果を出せるよう自らが行動を起こします。
 - 2 **ルールと正確性の重視**
私は、利用者様、職員など関わるすべての人々の安心・安全のため、ルールを守り正確性を重視します。
 - 3 **利用者理解と個別サービスの追求**
私は、利用者様の尊厳を守り、利用者様の理解に努め、質の高い個別サービスを追求します。
 - 4 **セルフイメージの向上と影響力**
私は、社会福祉の一端を担う者としての自覚と自信を持ち、人々に前向きな影響をもたらします。
 - 5 **職員の支援と育成**
私は、職員として、ともに学び、成長することを、互いの喜び・楽しみとします。
 - 6 **チームワークとリーダーシップ**
私は、チームの和を大切にしつつ、立場や状況にふさわしいリーダーシップを発揮します。
 - 7 **専門性の向上と活用**
私は、職務に必要な専門的、組織的能力を身につけ、発展させ、活用します。

各拠点



1 城陽エリア (城陽市)



- A 障害者支援施設 円(まどか・紡(つむぎ)・和(なごみ)・魁(さきがけ) 南山城学園診療所
- B 法人本部 介護老人保健施設 煌(きらめき) 通所リハビリステーション
- C 障害者支援施設 翼(つばさ) 知的障害者テイクサービスセンター あっぷ 観音堂ホーム
- D グループホーム 長池 / すずの詩保育園
- E 鷺坂ホーム
- F 障害者支援施設 凜(りん) ぶちぼんと kitchen+farm
- G 山城北園域障害者総合相談支援センター うる 障害児(者)地域療育支援センター うる 障害者生活支援センター はーもにい 高齢者テイクサービスセンター すまいる 居宅介護支援事業所 すまいる 身体障害者テイクサービスセンター すいんぐ
- H 若年者等就労支援拠点 サザン京都

2 醍醐エリア (京都市伏見区)



- A 障害者支援施設 光(ひかり)・輝(かがやき) 児童日中一時支援事業所 ちゅーりー 障害者テイクサービスセンター わこう 障害児(者)相談支援センター リーふ、京都府地域生活定着支援センター ふいっと 和光診療所 カフェぶらんたん

3 宇治エリア (宇治市)



- A 障害者支援センター じゃすと 障害者就業・生活支援センター はびねす 就労移行支援事業所 さびゅいえ グループホーム 宇治小倉ホーム コミュニティカフェ S'APPUYER (さびゅいえ)

4 中京区・下京区エリア (京都市)



- A もりの詩保育園
- B そらの詩保育園
- C かぜの詩保育園

5 島本町エリア (大阪府三島郡)



- A テイクセンター ふうらっぶ ショートステイ ふうらっぶ 障害児(者)相談支援センター ういっしゅ
- B るりの詩保育園
- C 認定こども園 ゆいの詩

人を支えるのは人しかない

わたしたちの社会には、障害のある方、高齢の方、子どもたちなど日常生活をおくるためになんらかのサポートを必要とする方が数多くいらっしゃいます。

サポートが必要な場面でそっと手を差し伸べ、その方が持てる力を最大限に発揮して自分らしく幸せな生活を送れるように寄り添うこと。それが私たちの仕事です。

人を支えるのは人しかいません。このことはどんなに社会が発展しようとも、未来永劫変わらない福祉の本質といえるでしょう。私たちはそのための「人づくり」に全力を注いできました。



社会福祉法人南山城学園 理事長
いそ あきただ
磯 彰格
1960年兵庫県生まれ
医学博士、総合内科専門医
全国社会福祉法人経営者協議会会長
全国社会福祉協議会 副会長

利用者の皆様の幸福追求という目的に向かい、ともにチャレンジし、感動を分かち合い、実践を積み重ねながら、南山城学園の未来をともに築く仲間を、そして、地域にその輪をひろげ、すべての方々が幸せに生活できる社会をともに作りあげる仲間を、私たちは求めています。

あなたと同じ志をもって働ける日を楽しみにしています。



法人概要

事業内容 福祉サービス（障害者・高齢者・乳幼児）など
設立 1965年2月
代表 理事長 磯彰格
職員数 約750名
総収入 約42億（2020年度実績）
事業所 京都府城陽市 / 京都市伏見区・中京区・
下京区 / 宇治市 / 大阪府島本町
障害30か所 / 高齢4か所・保育6か所など

お問い合わせ先

社会福祉法人南山城学園
法人本部事務局 新卒採用担当
〒610-0112 京都府城陽市長池五社ヶ谷14-1

☎ 0774-54-7210

✉ saiyo-entry@minamiyamashiro.com



詳しくは南山城学園
新卒採用サイトをご覧ください
<http://r-minamiyamashiro.com>

